



## SLで日光の楽しい思い出の1ページを。

SL 大樹 C11形123号と SL 観光アテンダント井池さん(左)、中島さん(右)

### SL 観光アテンダント 中島 美樹 さん・井池 忍 さん

中島：平成29年8月10日から日光にSLが走ることとアテンダントの募集を知り、興味を持っていましたが、家庭との両立に不安があり踏み切れずにいました。しかし、いつかは挑戦してみたいとの思いを諦めきれず令和元年5月に意を決して応募しました。

井池：愛知県から日光市へ引っ越してきました。令和元年10月に、SL大樹を見て「SL

### SLアテンダントを始めたきっかけは？

SL車内での業務として、座席指定券の検札や記念乗車証・アテンダント通信の配布、乗降時の安全確認、市内の観光案内などをしており、現在は9名のアテンダントが交代で3名1組のSL乗務をしています。それ以外は、イベントの企画やSL展示館での観光案内などをしています。

### 印象に残っている出来事は？

中島：ある男の子が夏休みの宿題で機関士になる夢を作文につづられました。それを基に、機関士や機関助士などがいて、そこに花を添えるのが私たちSL観光アテンダントだと思いました。お客様と日光との架け橋になり、他県出身者だからこそわかる日光の魅力をお伝えしています。

井池：沿線から市民の皆さまがSLから陰で整備をする車両係をはじめ、安全運転をする機関士、機関助士などがいて、そこに花を添えるのが私たちSL観光アテンダントの使命だと感じています。

### ♥ インタビューを終えて

「沿線地域の皆さまとSL大樹を通して日光を盛り上げる企画に取り組んでいきたいです」と一人とも今後の目標を話されていました。アテンダントの方々のおもてなしと笑顔により、乗客だけでなく地域がさらに明るく元気づけられることに、とても温かい気持ちになりました。

もてなしをする「SL観光アテンダント」を代表して、中島美樹さん、井池忍さんの二名に話を伺いました。

### 業務内容は？

年運行開始5周年を迎え、7月には新車両C11形123号機が運行を開始したSL大樹。今回SLの汽笛とともに、乗客へのおもてなしをする「SL観光アテンダント」を代表して、中島美樹さん、井池忍さんの二名に話を伺いました。

### 中島：仲間とのチームワークです。私たちの一番の目的は、お客様に「日光に来て良かった！」と感じていただくことです。また来たい！」と感じていただくことです。 井池：「目配り、気配り、心配り」です。「お客様が今何を望んでいらっしゃるのか？お困りではないか？」を常に意識して乗務しています。観光客が下今市駅で最初に会う日光市民が私たちSL観光アテンダントだと思います。お客様と日光との架け橋になり、他県出身者だからこそわかる日光の魅力をお伝えしています。

中島：SLは、安全運行のため日頃から陰で整備をする車両係をはじめ、安全運転をする機関士、機関助士などがいて、そこに花を添えるのが私たちSL観光アテンダントの使命だと感じています。

### 業務の魅力は？

中島：SLは、安全運行のため日頃から陰で整備をする車両係をはじめ、安全運転をする機関士、機関助士などがいて、そこに花を添えるのが私たちSL観光アテンダントの使命だと感じています。



広報にっこく

20

に携わり観光や接客の業務がしたい！」と思つていたところ、アテンダント募集のポスターを見て応募しました。

もらいに来たの！」と言葉をいただいたことが、うれしかつたです。

現在も、定期的にいらっしゃつて、そのたびに「ただいま！」「おかえりなさい！」とあいさつを交わしています。